

# 一 般 質 問 通 告 書

佐野市議会議長 様

	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center; vertical-align: middle;">受 付</td> <td>番号 15</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和 4年 8月 25日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>午前・午後 2時 35分</td> </tr> </table>	受 付	番号 15		令和 4年 8月 25日		午前・午後 2時 35分
受 付	番号 15						
	令和 4年 8月 25日						
	午前・午後 2時 35分						
議会名	令和 4 年 第 5 回 佐野市議会定例会						
発言者	議席番号 11 番 菅 原 達						
答弁を求める者 (選択してください)	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">市長</span> 副市長 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">教育長</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">担当部局長</span>						
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり ( 資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用 ) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>						
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)						
<p>1. 地球温暖化対策における緩和と適応の取り組みについて</p> <p>(1) 市街地の緑化の推進について</p> <p>(2) 戸建て住宅の庭先への植樹の推進について</p> <p>(3) 水を活用した取り組みの推進について</p>	<p>① 街路樹や公園の整備など、温暖化の緩和と適応を目的とした市街地の緑化を推進すべきと考えるがいかがか、伺いたい。</p> <p>① 温暖化の緩和と適応を目的とし、戸建て住宅の庭先への植樹を推進すべきと考えるがいかがか、伺いたい。</p> <p>② 温暖化の緩和と適応に相応しい植樹に公的助成をすることで、市民への意識啓発と植樹の推進に寄与するものとするがいかがか、伺いたい。</p> <p>① 街路樹や公園の整備と合わせ、せせらぎ水路や噴水の整備、また、舗道への散水やミストシャワーの設置など、水を活用した温暖化への適応</p>						

<p>(4) クールシェアの街づくりの推進について</p> <p>2. 避難所の体制整備について</p> <p>(1) 県立高校の指定避難所化について</p> <p>(2) 地元町会の公民館の一時避難場所としての活用について</p> <p>(3) 指定福祉避難所の指定について</p>	<p>の取り組みを推進すべきと考えるがいかがか、伺いたい。</p> <p>② 温暖化への適応、特に熱中症予防の観点から、市民にこまめな水分摂取を推奨するとともに、地区公民館などで避難や給水ができるような環境整備の重要性についてどのように考えるのか、伺いたい。</p> <p>① 温暖化対策における緩和と適応の推進は、環境にゆかりの深い本市には欠かせないテーマであり、その中で“日本一暑い佐野”が“暑い”というマイナスイメージをプラスに転じ、それを生かした街づくりにより、環境への意識啓発と本市の魅力発信に繋げられるものと考えます。 そこで、市民や観光客に、そのプラスを実感していただくための施策として、緑化の推進や水の活用に加え、公共や民間の施設で気軽にクールシェアができる街づくりを推進すべきと考えるがいかがか、伺いたい。</p> <p>① 市内の県立高校を指定避難所として活用することの重要性を踏まえ、指定に向けた課題と今後の対応について、伺いたい。</p> <p>① 地元町会の公民館の一時避難場所としての活用の現状と今後の対応について、伺いたい。</p> <p>① 指定福祉避難所の指定及び直接避難については、令和3年第4回定例会（6月定例会）で、「指定福祉避難所の基盤づくりを進める」との答弁を頂いているが、進捗状況と今後の対応について、伺いたい。</p>
--	---

<p>3. ハイブリット型授業の推進について</p> <p>(1) ハイブリット型授業のメリットについて</p> <p>(2) ハイブリット型授業の普及促進について</p>	<p>① ハイブリット型授業は、児童生徒の家庭事情に応じ、対面かオンラインかの授業形式を選択できることから、コロナ禍に限らず、病気療養や不登校など様々な状況下でも、本人が望む限りその児童生徒に最も相応しい授業形式を用い、学びを継続させることができるというメリットがあると考えるがいかがか、伺いたい。</p> <p>① 状況に応じ授業形式を選択することで、希望する全ての児童生徒の学びの保障に繋がれることから、全ての児童生徒に対しハイブリット型授業を提供することが望ましいと言える。  その上で、学校間やクラス間で格差を生まないためには、学校主体ではなく、教育センター主導のもとで、ハイブリット型授業の普及促進を図るべきと考えるがいかがか、伺いたい。</p>
<p>4. 公共施設への Wi-Fi 環境の整備について</p>	<p>① Wi-Fi 環境を一律に整備するのではなく、施設の規模や利用の目的及び、利用の頻度に応じたスペックの選定、さらに、移動式 Wi-Fi による柔軟な運用により、初期及び維持の費用を最小限に抑えた環境整備ができると考える。  その上で、オンラインを活用した市民活動の促進、特に、自宅がオンライン学習の通信環境にない家庭の支援のため、また、防災上必要な情報を得るための環境整備の観点から、優先的に地区公民館の Wi-Fi 環境を整備すべきと考えるがいかがか、伺いたい。</p> <p>② 講演会等のオンライン化への対応として、市文化会館小ホールの Wi-Fi 環境を整備すべきと考えるがいかがか、伺いたい。</p>